

# カルテ記録のスキルアップ

～ 他職種から見られています。あなたの記録 ～

がん病態栄養専門管理栄養士、NST専門療法士、日本糖尿病療養指導士

国立病院機構 渋川医療センター

栄養管理室長

須永 将広

# 本セミナーを開催する背景・・・

管理栄養士のAさん、退院カンファレンス来られないって・・・。忙しいみたいで、、  
栄養のこと大事だし、本人と家族に栄養指導も  
お願いしたいけど・・・



でも・・・、普段のカルテの栄養指導の記録を見ても、この程度の内容なら、私たちでも十分に**食事の説明はできる**わ♪  
何かあれば、STさんに聞けば良いし。



カルテへの記録次第で、

「管理栄養士にお願いしよう」

or

「私たちが十分だよね」



そうならな  
いために！

カルテ記録は、  
重要な分岐点！！

# カルテ記録

【S】

【O】



その前に

【A】

【栄養診断の根拠】

【P】

Mx) monitoring plan (モニタリング計画)

Rx) therapeutic plan (栄養治療計画)

Ex) educational plan (栄養教育計画)

# 管理栄養士・栄養士の 栄養学教育モデル・コア・カリキュラム

## F 疾病と栄養管理の実践

- F-1 疾病の成り立ちと傷病者の栄養管理
- F-2 傷病者、要介護者および障がい者の栄養管理
- F-3 傷病者、要介護者および障がい者に対する栄養管理の実践

### 3-1) Nutrition Care Processの理解

ねらい：NCPを理解し、活用する。本項目の学修は、さまざまな病態に応じた栄養管理を実践すること（F-4、F-5）につながる。

#### 【学修目標】

- ①栄養スクリーニングの評価方法を説明できる。
- ②対象者の栄養摂取量を把握し、必要栄養量に対する摂取状態を評価できる。
- ③目的や対象に適した栄養評価および病態評価の項目や方法を選択し、評価できる。
- ④栄養状態および病態の問題展、それに関連する生活状況や環境、疾患などの要因を抽出し、問題展との関連（原因）について説明できる。
- ⑤**栄養診断の意義、目的、用語とその定義および記載方法（PES ; Problem of Nutrition Diagnosis label、Etiology, Signs/ symptoms）を説明できる。**
- ⑥対象者に関する栄養診断に基づいて、栄養介入のための短期、中期、長期の目標の設定ができる。
- ⑦行動変容の理論等を活用し、栄養介入計画を作成することができる
- ⑧栄養介入の経過をモニタリングし、その評価（判定）について説明できる。
- ⑨**栄養管理の経過について評価し、NCPに基づいて記録できる。**

# 栄養ケアプロセス

◆**栄養状態に問題が生じている根拠と原因を明確に示し、栄養状態に問題が生じている原因に対して栄養介入を行い、患者の栄養状態を改善する栄養管理プロセス**

# 栄養ケアプロセス

- ① 問題となる栄養アセスメントデータを抽出する
- ② 抽出したデータをもとにアセスメントを行う。これらの本質的な原因や要因を探る
- ③ 栄養アセスメントから主要なコードを探す
- ④ 今一番介入しなくてはいけないコードは？
- ⑤ 栄養診断の根拠をPESで記載する

S<sub>(sign/symptoms)</sub>の根拠に基づき、E<sub>(etiology)</sub>が原因となった  
→ Object → Assessment  
P<sub>(problem or nutrition diagnosis label)</sub>の状態

- ⑥ PESをもとに、栄養介入計画を記載

Mx) monitoring plan (モニタリング計画)

Rx) therapeutic plan (栄養治療計画)

Ex) educational plan (栄養教育計画)

→ Oと関連付けて記載

→ Aと関連付けて記載

# 栄養アセスメントデータ

栄養評価の項目 (大区分)	指標
食物・栄養関連の履歴	食物・栄養素摂取、食物・栄養の管理、薬剤・補完代替医療食品の使用、食物・栄養に関する知識・信念・態度、栄養管理に影響を及ぼす行動、食物および栄養関連用品の入手のしやすさ、身体活動と機能、栄養に関連した生活の質
身体計測	身長、体重、体格指数（BMI）、成長パターン指標・パーセントイル値、体重歴
生化学データ、臨床検査と手順	生化学検査値、検査（例：胃内容排泄時間、安静時エネルギー代謝量）
栄養に焦点を当てた身体所見	身体的な外見、筋肉や脂肪の消耗、嚥下機能、消化管の状態、食欲、感情、バイタルサイン
個人履歴	個人の履歴、医療・健康・家族の履歴、治療歴、社会的な履歴



何を**アセスメント**をする必要があるのか

そのためには、**どんなことを確認する（聞き出す・引き出す）** 必要があるのか

管理栄養士のスキル

# 1. カルテへ記録・・・ということとは

→ 患者さんに、何らかの介入をする

① カルテを確認する

② 得たい（必要な）情報は？

→ O?

③ 患者さんから得たい情報は？

→ S?

④ 問題点・課題は？

→ A?

⑤ 具体的にどうすると良い？

→ P?

# 2. 疾患・病態別

→ 上記項目は、  
病態・治療によって、異なる



◆カルテから必要な情報を得なければならない

→ 0

◆カルテからは得られない情報は、患者さんから得なければ判らない

→ 0

→ S

◆どんな情報を、どのように聞き出す(引き出す・確認する)か

→ S

短時間で行わなければならない

管理栄養士のスキル

また、  
病態・治療に応じた適切な  
栄養ケアが行われなければ、  
病態・状態を悪化させるこ  
ともある



万が一に備えることも

栄養士会の会員の方は、自動的に  
訴訟保険に入っています！

# カルテ(患者)からの情報収集力

→ 管理栄養士のスキル

(知識・経験・想像力・コミュニケーション力)

管理栄養士のスキル

アセスメントにつながる肝

# カルテ(患者)からの情報収集力

## → 管理栄養士のスキル

何が違う？

### (知識・経験・想像力・コミュニケーション力)

- ◆ 必要な情報が何か、整理できている  
(病態・治療の全体像が解っている)
- ◆ 必要な情報を見逃さない  
(関連付けて考えられる・気付ける)
  - 患者にも具体的に聞ける、効率も良い、適切なアセスメントができる (につながる)
  - 本質的な原因や要因を探ることができる
- ◆ 記憶力(よく覚えてる)
- ◆ その他

# 逆に言うと、

- ◆ 必要な情報が判らない(足りない)
  - ◆ どんな情報が、何とどう関係・関連するかが判らない (アセスメントができない)
- 本質的な原因や要因を探ることができない
- 適切な栄養ケアにつながらない
- カルテ記録も乏しい  
(PESまでいかない)



☆ 必要な情報を得ることができれば、より有用なアセスメントに

→ 本質的な原因・要因も探しやすい

→ ケアプランも明瞭

→ カルテ記録もスムーズ

病態ごとに、  
栄養管理を行う上で、**重要なポイント**を考えてみよう

カルテへの記録次第で、

「管理栄養士にお願いしよう」

or

「私たちが十分だよね」



そうならな  
いために！

カルテ記録は、  
重要な分岐点！！